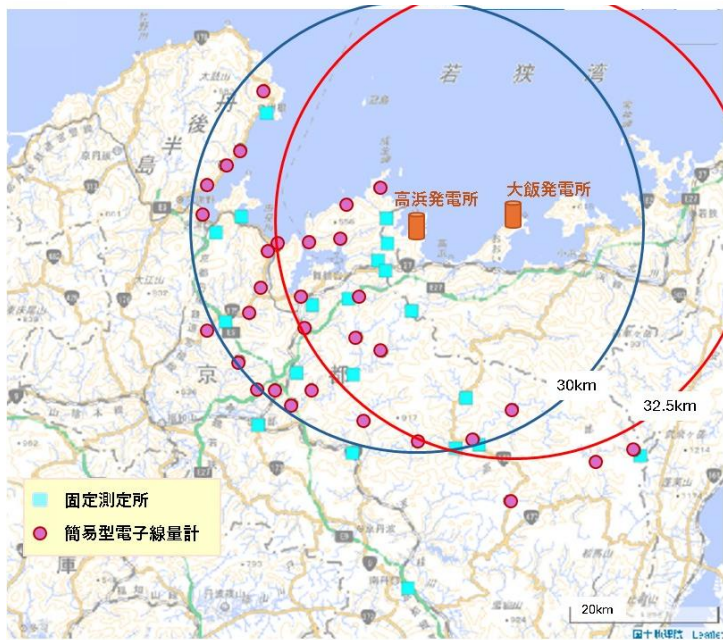


放射線モニタリングの強化～原子力災害に備えて～

府では、府民の安心・安全な暮らしを守るため、関西電力株式会社高浜発電所及び大飯発電所の周辺環境への影響の有無について、監視調査を実施するとともに、緊急時に備えて、平常時から**UPZ***（高浜発電所から30km、大飯発電所から32.5kmの範囲）で、固定測定所及び簡易型電子線量計により放射線監視を行っています。

令和6（2024）年度には、既存の機器の老朽化に伴い、府内31箇所にある簡易型電子線量計を最新式の機器に更新しました。

図1-3-2 モニタリングポスト等設置位置



■京都府原子力総合防災訓練

令和7（2025）年11月30日（日）に開催された京都府原子力総合防災訓練において、緊急時モニタリング訓練を実施しました。

訓練では、福井地域で大地震が発生した想定で府モニタリング本部の設置と各拠点への指示系統の確認を行うとともに、モニタリング要員が、本部の指示に従いUPZ内で放射線量の測定や試料採取を行いました。



図1-3-3 緊急時モニタリングの流れ



■簡易型電子線量計

避難の区域毎に設置し、固定測定所のデータと併せて緊急時に活用します。

災害時に商用電源の喪失や通信基地局の損壊等が発生した場合でも、測定及びデータ送信が途切れることがないように、電源及び通信を二重化しています。

写真1-3-15 簡易型電子線量計



写真1-3-16、写真1-3-17
訓練の様子

